

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

会員研究発表リスト : 2005年4月-2006年3月

(出版者 / Publisher)

法政大学経営学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

The Hosei journal of business / 経営志林

(巻 / Volume)

43

(号 / Number)

2

(開始ページ / Start Page)

165

(終了ページ / End Page)

175

(発行年 / Year)

2006-07-30

会員研究発表リスト—2005年4月～2006年3月—

天 野 倫 文 助教授

- (著書) 『東アジアの国際分業と日本企業』 有斐閣, 2005年9月.
 (オーラルヒストリー) 「未知なる海外市場を切り拓く: 小泉修平 (松島茂教授との共編)」 法政大学
 イノベーションマネジメント研究センター, 『法政大学イノベーションマネジメント研究セン
 ター ワーキングペーパーシリーズ』 No.14, 2006年3月.

池 田 宏一郎 助教授

- (論文) “A remark on the stability of saturated generic graphs”, *Journal of the Mathematical Society of Japan*, Vol.57, no. 4 (2005), pp.1229-1234.
 (論文) “Algebraic types of generic graphs”, *Kokyuroku of the Research Institute of Mathematical Sciences in Kyoto*, 145 (2005), pp.63-68.
 (論文) “The stability spectrum of generic graphs”, *Kokyuroku of the Research Institute of Mathematical Sciences in Kyoto*, 145 (2005), pp.69-74.
 (論文) “Forking in generic structures”, *Kokyuroku of the Research Institute of Mathematical Sciences in Kyoto* に掲載予定.
 (アブストラクト) “The stability spectrum of generic graphs”, *The Bulletin of Symbolic Logic* に掲載予定.
 (研究発表) 「Generic 構造のモデルの数」 神戸大学数理論理学セミナー (神戸大学), 2006年2月.
 (学会発表) 「ある種の融合性をもつ Generic 構造」 日本数学会年会 (岡山大学), 2005年9月.
 (学会発表) 「Generic 構造の閉包と安定性」 日本数学会年会 (岡山大学), 2005年9月.
 (研究発表) 「Generic 構造における独立概念 I」 「自然数の超準モデルにおける 1 階定義可能性の研究」 研究集会 (京都大学数理解析研究所), 2005年9月.
 (研究発表) 「Generic 構造における独立概念 II」 「自然数の超準モデルにおける 1 階定義可能性の研究」 研究集会 (京都大学数理解析研究所), 2005年9月.
 (研究発表) “The stability spectrum of generic graphs”, *Logic Colloquium 2005 (University of Athens, Greece)*, 2005年7月.

稲 上 毅 教授

- (著書) 『ポスト工業化と企業社会』 ミネルヴァ書房, 2005年5月.
 (論文) 「日本企業の経営者報酬のあり方」 産労総合研究所 『賃金実務』 No.2479, 2005年7月5日号.
 (調査報告) 「外資系企業の経営・雇用・労使関係」 日本外資系労働組合協議会 『外資系企業動向: 2006年版』, 2006年2月.
 (書評) 「サンフォード・M・ジャコービィ 『日本の人事部・アメリカの人事部』」 労働政策研究・研修機構 『日本労働研究雑誌』 No.547, 2006年2月.
 (小論) 「敵対的買収・企業価値・人的資産」 労働政策研究・研修機構 『ビジネス・レーバー・トレンド』 No.364, 2005年7月号.
 (学会報告) 「わたくしの社会学的アイデンティティ —— 「産業社会学35年」 をふりかえって」 関東社会学会, 2005年6月19日, http://www.soc.nii.ac.jp/kss/congress/53/points_themeC.html

宇田川 勝 教授

- (資料) 「鮎川義介 回想と抱負 (稿本, 1)」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第1号, 2005年4月.
- (コラム) 「満業コンツェルの経営」春光懇話会『Wave』No.112, 2005年5月.
- (共編著) 『失敗と再生の経営史』有斐閣, 2005年6月.
- (資料) 「鮎川義介 回想と抱負 (稿本, 2)」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第2号, 2005年7月.
- (コラム) 「民間外交の展開と満州撤退策」春光懇話会『Wave』No.113, 2005年8月.
- (資料) 「鮎川義介 回想と抱負 (稿本, 3)」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第3号, 2005年10月.
- (コラム) 「日産厚生園の開設」春光懇話会『Wave』No.114, 2005年11月.
- (資料) 「鮎川義介 回想と抱負 (稿本, 4)」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第4号, 2006年1月.
- (コラム) 「財閥指定時の日産コンツェルン」春光懇話会『Wave』No.115, 2006年2月.
- (ワーキングペーパー, 共編) 「巻島英雄 オーラルヒストリー」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパー・シリーズ』No.15, 2006年3月.

遠田 雄志 教授

- (講演) 「組織を変えるコミュニケーション」経営研究所『マネジメントトレンド』Vol.10, 2005. 9, 2005年6月.
- (講演) 「組織を変える〈常識〉」リーディングイノベーション, 2005年10月.
- (インタビュー) 「変革に不可欠なコミュニケーション」メディカルフレンド社, 『看護展望』Vol.31, 2006. 1, 2006年1月.
- (エッセイ) 「改革の風景〈1〉常識と互解」日本歯科医師会『日本歯科医師会雑誌』Vol.58, No. 3, 2006年3月.

大下 勇二 教授

- (著書〔共著〕) 『プラン・コンタブルの国際比較』中央経済社, 2005年7月.

大塚 裕史 教授

- (論文) 「サプライ・チェーンに対する TOC・スルーputt 会計の有用性」門田安弘編著『企業価値向上の組織設計と管理会計』税務経理協会, 2005年5月.

小川 孔輔 教授

- (監修) 『クイック・ハンドブック』草土出版, 2005年10月.
- (著書) 『花を売る技術』誠文堂新光社, 2005年10月.
- (論文) “Branding of Japanese Organic Supermarket and the Characteristics of Consumer Behavior in Its User Segments” Asian ACR, *Asia Pacific Advances in Consumer Research* Vol. 6, 2005年6月.
- (論文) 「消費市場としての中国」経営研究所『マネジメントトレンド』Vol.10, 2005年11月.
- (論文) 「有機農産物の流通, 安全性, 消費者反応に関する研究: 既存研究の概観 (中): 有機農産物の国際貿易, 食の安全性に対する消費者反応」『経営志林』第42巻第3号, 2005年10月.
- (論文) 「広研・自由連想モデルによるブランド診断—PINS 測定法の理論的背景から商用化への課題

まで」日経広告研究所『日経広告研究所報』225号, 2006年1月.

- (論文) 「広告宣伝戦略とブランディング」日経広告研究所編『広研シンポジウム報告書』2006年3月.
- (論文) 「未来型ホームセンターの形「住」のセレクトショップを提案する」ダイヤモンド・フリードマン社, 『ダイヤモンドホームセンター』誌, 4/5月号, 2005年4月.
- (論文) 「急成長する米国オーガニックSM, ホールフーズ社の秘密を解く」ダイヤモンド・フリードマン社, 『チェーンストアエイジ』誌, 6月1日号, 2005年5月.
- (論文) 「米国 LOHAS 層を牽引するホールフーズはなぜ急成長したのか?」ダイヤモンド・フリードマン社, 『チェーンストアエイジ』誌, 12月1日号, 2005年12月.
- (対談) 「新社長! 注目起業の戦略と意思を語る (JR 東日本ステーションリテイリング代表取締役社長鎌田由美子氏との対談)」ダイヤモンド・フリードマン社, 『チェーンストアエイジ』誌, 1月15日号, 2006年1月.
- (論文) 「同業他社統合から異業種他社の統合へ」ダイヤモンド・フリードマン社, 『ダイヤモンドホームセンター』誌, 2/3月, 2006年2月.
- (コラム) 「転換期を迎えた農産物輸出立国時代の農政」『日本農業新聞』3月13日付, 2006年3月.
- (報告書) 『第17回 DIY 小売業実態調査報告書 (2005年度)』日本DIY協会, 2005年9月.

岸 眞理子 教授

- (分担執筆) 『増補版 現代経営用語の基礎知識』(編者代表: 佐久間信夫) 学文社, 2005年9月.
- (論文) 「オープン・コミュニティ参加による学習とイノベーション」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第3号, 2005年10月.
- (学会報告) 「コンテクスト形成とイノベーション」オフィス・オートメーション学会 第51回全国大会, 2005年11月.
- (論文) 「コア・ケイパビリティとコンテクスト形成」オフィス・オートメーション学会誌『オフィス・オートメーション』第26巻第2号, 2005年11月.

木原 章 助教授

- (著書) 『牧野標本館所蔵 シーボルトコレクション』東京都立大学出版会, 2005年5月.
- (その他) 「Photoshop の基本操作」『医学・ライフサイエンス Photoshop の画像処理マニュアル』第1章, 羊土社, 2005年11月.
- (その他) 「顕微鏡画像を見やすく処理する」『医学・ライフサイエンス Photoshop の画像処理マニュアル』第3章, 羊土社, 2005年11月.
- (その他) 「画像を撮影する (写真・動画)」『バイオ研究がぐんぐん進むコンピュータ活用ガイド』第4章, 羊土社, 2001年2月.
- (その他) 「画像を編集する」『バイオ研究がぐんぐん進むコンピュータ活用ガイド』第4章, 羊土社, 2006年2月.

金 容 度 助教授

- (論文) 「液晶部材の企業間取引と集積」(中小企業総合研究機構編『国際分業パターンと企業間提携』, 2005年3月)
- (論文) 「IT 部品の企業間取引と国際展開—携帯電話機用の半導体と液晶, 及び液晶材料」『東アジアへの国際戦略と技術・事業経営の進化—日本企業の競争優位構造強化のビジネスモデルに向けて』(新エネルギー・産業技術総合開発機構の平成16年度産業技術研究助成事業), 2005年7月.
- (論文) 「長期相対取引と市場取引の関係についての考察—高度成長期前半における鉄鋼の取引」法政

- 大学経営学会『経営志林』第42巻第4号, 2006年1月.
- (論文) 「復興期後半の鉄鋼価格乱高下と競争構造」『東京大学ものづくり経営研究センターディスカッションペーパー』(2006-MMRC-66), 2006年2月.
- (調査報告書〔2人共著〕) 『工作機械に関する日米貿易摩擦』(経済産業省の委託研究) 2005年3月.
- (調査報告書〔共著〕) 『北九州・福岡にみる知的クラスター創生政策の動向—2004年8月の調査—』(平成16年度科学研究費補助金基盤研究A), 2005年3月.
- (調査報告書〔共著〕) 『アメリカ・シリコンバレー調査報告書—2004年9月調査—』(平成16年度科学研究費補助金基盤研究A), 2005年6月.
- (資料) 「企業家の決断—株式会社ゲオ故遠藤結城社長の事例—」(松島茂氏との共著) 『イノベーション・マネジメント』(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター紀要), No. 2, 2005年3月.
- (エッセー) 「日本IC産業の黎明期に学ぶ」『Encore』(半導体シニア協会) No.44, 2006年1月.
- (報告) 「日本の携帯電話産業の動向」(韓国産業組織学会競争政策フォーラム〔韓国ソウル2005年5月9日〕)
- (報告) 「鉄鋼業」(政治経済学・経済史学会全国大会でのパネル報告「戦後復興期の産業発展と企業経営」, 2005年10月29日, 於新潟大学)

木村純子 助教授

- (著書〔共著〕) “Advertising and the Emergence of Consumer Product Image in Social Constructionism Perspective”, Lawrence Erlbaum Association, *Creating Images and the Psychology of Marketing Communication*, 2006年1月.
- (査読付論文) “Christmas in Japan: Globalization versus Localization”, with Russell Belk, *Consumption, Markets and Culture*, Volume 8, pp347-360, 2005年9月.
- (Conference proceedings) “Santa Claus Is Coming to Town: Assimilation of Christmas in Japan”, with Russell Belk, Association for Consumer Research, *Advances in Consumer Research*, Volume 32, pp 6 - 8, 2005年8月.

倉田俊彦 助教授

- (論文) “Deuotational sewautics excluding weak-extensionality in simple types”, 京都大学数理解析研究所『数理解析研究所講究録』1442, 2005年7月.

児玉靖司 教授

- (論文) “Controlling Biped Walking Robots Using Genetic Algorithms in Mobile Agent Environment” IEEE, IEEE 3rd International Conference on Computation Cybernetrcs, 2005年4月.

近能善範 助教授

- (論文〔共著〕) 「日本自動車産業の変貌：1990年代を中心として」, 法政大学経営学会『経営志林』第42巻2号, 2005年7月.
- (その他) 「コラム：二次データの収集と活用」藤本隆宏・高橋伸夫・新宅純二郎・阿部誠・粕谷誠著『リサーチ・マインド経営学研究法』有斐閣, 2005年9月.
- (論文〔単著〕) “Transition of the Japanese automobile industry: Focus on the 90's,” 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『イノベーション・マネジメント』, No. 3, 2006年3月.

佐藤 康男 教授

(共著) 『原価計算テキスト』(福田淳児教授と) 中央経済社, 2006年3月.

竹内 淑恵 教授

(査読論文〔単著〕) 「広告認知と店頭配荷による販売への影響」日本消費者行動研究学会, 『消費者行動研究』, Vol.11, No. 1-2, pp.19-33, 2005年3月.

(査読論文〔共著〕) “Factors of Household Recycling and Waste Reduction Behavior”, Association for Consumer Research, *Asia Pacific Advances in Consumer Research*, Vol. 6, pp. 46-51, 2005.

(査読論文〔単著〕) 「大衆薬における下位ブランド購買への推奨販売の効果ー潜在成長曲線モデルの適応事例ー」日本商業学会 『流通研究』 第9巻, 第1号, 査読終了.

(著書〔単著〕) 「広告効果と広告調査」日本経済新聞社 『平成18年度広告に携わる人の総合講座』 pp. 201-217, 2006年2月.

(書評) 「GDP 神話から HSM へ「人間満足」というパラダイムシフト」毎日新聞社, 週刊『エコノミスト』, 2005年12月13日号 p.62, 2005年12月.

(学会発表〔共同研究〕) 「商品パッケージの情報処理に関する研究ー精緻化見込みモデルを応用した情報処理ルートの解明ー」日本消費者行動研究学会, 第30回消費者行動研究コンファレンス報告要旨集, pp.13-16, 2005年6月.

(学会発表〔共同研究〕) 「推奨販売がプライベートブランド購買に与える影響ー大衆薬業界のケースー」日本消費者行動研究学会, 第30回消費者行動研究コンファレンス報告要旨集, pp.21-24, 2005年6月.

(学会発表〔共同研究〕) 「有機野菜に対する価値構造の分析」日本マーケティングサイエンス学会, 第78回研究大会, 2005年12月.

田路 則子 助教授

(著書) 『アーキテクチュラル・イノベーション』白桃書房, 2005年12月.

(論文) 「ハイテク・スタートアップス創出基盤に関する比較研究」明星大学経済学部経営学科 『経営学研究紀要』 第1号, 2006年3月.

(学会報告) 「消費者間コミュニケーションの促進メカニズム」日本商業学会「全国大会 ワークショップ」, 2005年5月.

(学会報告) 「研究開発専門職のキャリア志向性」組織学会「研究発表大会」, 2005年6月.

(学会討論) “Comparisons between the rareer orientations of R & D professionals in Japan and the United States”, Asia Academy of Management, Round Table at Academy of Management, August, 2005.

(学会討論) “The growth model of Japanese high tech start-ups”, Asia Academy of Management, Round Table at Academy of Management, August, 2005.

田中 洋 教授

(著書) 『Q & Aでわかるはじめてのマーケティング』(岩村水樹との共著) 日本経済新聞社, 2005年4月.

(分担執筆) 「アメリカでブランド資産を形成するためには ~日系企業経営者のために~」ABPS 編 『アメリカで成功する経営』中央経済社, pp.122-134, 2005年8月1日.

(論文〔単著〕) 「米国広告取引関係の変容ー報酬制度の変化は何をもたらしたか」『日経広告研究所

- 報』(日経広告研究所), 222号, (2005年8-9月号), 2005年8月1日, pp.2-8.
- (論文〔単著〕) 「危機再生としてのブランド戦略」, 『マーケティング・ジャーナル』(社団法人日本マーケティング協会), 第98号, 2005年9月30日, pp.38-47.
- (研究ノート) 「消費者行動論序説(1)～1. 意思決定と選択その1～」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第2号, 2005年7月, pp.75-85.
- (研究ノート) 「消費者行動論序説(2)～1. 意思決定と選択その2～」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第3号, 2005年10月, pp.107-114.
- (研究ノート) 「消費者行動論序説(3) 2. 感情と気分」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第4号, 2006年1月, pp.87-94.
- (学会報告記録) 「グローバル広告主-広告代理店 パートナーシップの変容」, 『アド・スタディーズ』(財団法人吉田秀雄記念事業財団), 第11号, 2005年2月25日, pp.9-13.
- (事例研究) 「最北の動物園に起きた奇跡のイノベーション(旭川市旭山動物園)」, 『NTT東日本BUSINESS』2005年10月号, pp.27-31.
- (事例研究) 「<本物>のブランドを創る～伊右衛門に見る日本文化ブランディング～」, 『NTT東日本BUSINESS』2005年12月号, pp.37-40.
- (事例研究) 「コミュニケーションのバリアフリーを目指して～聴覚障がい者のためのテレビ電話サービス事業展開～(株式会社プラスヴォイス)」, 『NTT東日本BUSINESS』2006年2月号, pp.38-42.
- (対談) 「変わるアメリカ～ニューヨーク・メディア・コミュニケーション」(茂木崇との対談)(たなか・ラ・コラム特別篇)『SPACE』(毎日新聞社広告局), 2005年4月号.
- (論説) 「NY生活を総括する」(たなか・ラ・コラム第36回)『SPACE』(毎日新聞社広告局), 2005年5月号, pp.10-11.
- (論説) 「広告界はどうするか?」(たなか・ラ・コラム第37回)『SPACE』(毎日新聞社広告局), 2005年6月号, pp.10-11.
- (論説) 「カッコいいって, どんなこと」(たなか・ラ・コラム第38回)『SPACE』(毎日新聞社広告局) 2005年7・8月号, pp.10-11.
- (論説) 「消費者満足を再考する」(たなか・ラ・コラム第39回)『SPACE』(毎日新聞社広告局) 2005年9月号, pp.10-11.
- (論説) 「旭山動物園のイノベーション」(たなか・ラ・コラム第40回)『SPACE』(毎日新聞社広告局) 2005年10月号, pp.10-11.
- (論説) 「クリエイティブ・アイデアを開発する」(たなか・ラ・コラム第41回)『SPACE』(毎日新聞社広告局) 2005年11月号, pp.10-11.
- (論説) 「プレゼンの極意」(たなか・ラ・コラム第42回)『SPACE』(毎日新聞社広告局) 2005年12月号, pp.10-11.
- (論説) 「グローバルブランドをどう育てるか」(たなか・ラ・コラム第43回)『SPACE』(毎日新聞社広告局) 2006年1・2月号, pp.10-11.
- (論説) 「消費の起源」(たなか・ラ・コラム第44回)『SPACE』(毎日新聞社広告局) 2006年3月号, pp.10-11.
- (パネル討議記録) 「米英広告業の変化と日本広告業に示唆するもの～広研フォーラム『広告(業)の明日を問う』から」(小林保彦, 楓セビル, 茂木崇とのパネル討議), 『日経広告手帖』(日本経済新聞社広告局) 2005年7月号, pp.40-47.
- (パネル討議記録) 「実践ブランド広告と採用」(加藤恭彦, 吉川勝, 成田周平とのパネル討議)『日経ブランディング』(日経広告手帖別冊, 日本経済新聞社広告局) 2005年12月27日, pp.42-45.

入戸野 健 教授

(学会報告) “Evaluation of sequential approaches to image restoration using Monte Carlo methods”, The International Statistical Institute, Bulletin of the International Statistical Institute, 55th Session Contributed Papers, 2005年4月.

(著書〔共著〕) 『実習 Excell による表計算』サイエンス社, 2005年10月.

(著書〔共著〕) 『実習 Visual C++, NET』サイエンス社, 2006年3月.

西川 真規子 助教授

(論文) 「感情労働とその評価」大原社会問題研究所『大原社会問題研究所雑誌』No.567, 2006年2月.

(発表) “Are Care Workers Knowledge Workers?”, Paper presented for the ESRC seminar “Gendering the Knowledge Economy” at Lancaster University, March 16-17, 2006.

林 直嗣 教授

(論文) “Structural changes and unit roots in Japan's macroeconomic time series: is real business cycle theory supported?”, *Japan and the World Economy*, Vol.17. Issue 2, pp.239-259, North Holland, 2005, April.

(著書) 『問題演習 金融論』, 2005年4月.

(学会討論) “Comments on Jayasinghe and Premaratne: “Impact of Asymmetries on Exchange Rate Exposure”, The 4th International Conference of the Japan Economic Policy Association, 2005, November.

原 征士 教授

(著書) 『株式会社監査論 (第3版)』白桃書房, 2005年4月.

(共著) 『近代会計成立史』同文館出版, 2005年4月.

(学会発表) 「わが国職業的会計士法制の展開——資格試験制度を中心として——」, 日本会計史学会 (全国大会), 2005年10月9日.

平田 英明 専任講師

(論文) “Sources of Fluctuations”, *Emerging Markets Finance and Trade*, forthcoming, 2006年3月 (レフェリー審査通過)

(著書) 「モンテカルロ法, ブートストラップ法, カリブレーション法」蓑谷千鳳彦, 縄田和満, 和合肇編『計量経済学ハンドブック』第20章, 朝倉書店, 近刊.

(論文) 「わが国中堅・中小企業金融の新しい展開」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第2号, 2005年7月.

(論文) 「郵政公社の課題と民営化への動き」日本経済研究センター『日本金融研究』第13号, 2005年10月.

(論文) 「銀行収益と貸出市場」日本経済研究センター『日本金融研究』第13号, 2005年10月.

福島 英史 助教授

(論文) 「経営戦略と組織の相互作用——組織変革の戦略への影響経路——」北海道大学『経済学研究』第55巻第1号, 2005年6月.

福田 淳 児 教授

- (論文) 「管理会計担当者の役割変化と組織業績への貢献」 門田安弘編著『企業価値向上の組織設計と管理会計』税務経理協会, 2005年5月.
- (論文) 「管理会計担当者の役割・知識・経験についての実態調査」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第3号, 2005年10月.

洞 口 治 夫 教授

- (論文) “Japanese Foreign Direct Investment in China: From Export-oriented Production to Domestic Marketing,” in René Haak and Dennis S. Tachiki eds., *Regional Strategies in a Global Economy: Multinational Corporations in East Asia*, IUDICIUM Verlag GmbH, chapter 5., pp.119-135, 2004.
- (学会コメント) 馬場正弘(敬愛大学)「産業における環境技術革新の要因と効果—海外活動と研究開発—」へのコメント. 日本経済政策学会第62回全国大会, 於・法政大学経済学部, 2005年5月29日.
- (調査報告書) 『アメリカ・シリコンバレー調査報告書—2004年9月調査—』天野倫文・金容度・近能善範・柳沼寿との共著, 平成16年度科学研究費補助金基盤研究A, 課題番号16203022「産業クラスターの知的高度化とグローバリゼーション」調査レポート, No.2, 2005年6月.
- (学会コメント) 竹之内秀行(上智大学)・高橋意智郎(実践女子大学)「日本企業の海外直接投資と環境の不確実性」へのコメントおよび司会. 国際ビジネス研究学会第12回全国大会, 於・広島市立大学国際学部, 2005年10月16日.
- (ワーキング・ペーパー) “An Economic Analysis of Free Trade Agreements: Graph Theory and a Paradox of Hub and Spoke Network,” 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキング・ペーパー・シリーズ, No.10, 2005年10月20日.
- (報告) “Innovation and Growth Strategy in the Global Economy: International Comparison of Research Policy and Industrial Clusters,” 日仏会館フランス事務所(東京都渋谷区恵比寿)主催, 在日フランス商工会議所および在日フランス大使館経済部共催, 「日本経済に関するランチ・セミナー」報告, 2005年11月9日.
- (論説) 「自治体職員の意識改革も不可欠 シビック・アントレプレナーシップ育てよ」『日経グローバル』No.40, p.26, 2005年11月21日.
- (コメント) 浅羽茂(学習院大学)・牛島辰男(青山学院大学)「日本企業のダウンサイジング: 変化, 決定要因, 業績への影響」へのコメント. 日本経済研究センター「失われた10年を超えて」研究会, 於・社団法人・日本経済研究センター, 7階特別会議室, 2006年1月16日.
- (著書) 『経営学のフィールド・リサーチ「現場の達人」の実践的調査手法—』小池和男教授との共編著, 日本経済新聞社, 2006年1月.
- (ワーキング・ペーパー) “Emergence Theory of Industrial Cluster: Graph Theory and Market Network,” 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキング・ペーパー・シリーズ, No.11, 2006年2月10日.
- (講演) 「日米欧企業の対アジア戦略—中国を中心に—」, ジェトロ ASEAN セミナー『日米欧企業の対アジア戦略—中国を中心に—』における基調講演, 於・シンガポール, インターコンチネンタル・ホテル, 2006年3月20日.

松 島 茂 教授

- (論文) 「産業構造の多様性と地域経済の『頑健さ』—群馬県桐生市、太田市および大泉町のケース」 橋川武郎・連合総合生活開発研究所編『地域からの経済再生—産業集積・イノベーション・雇

- 用創出』有斐閣, 2005年4月, pp.11-36.
- (論文) 「地域経済の『頑健さ』について考える」 連合総研レポート第193号, 2005年4月, pp.13-18.
- (論文) 「中小小売商業政策・中心市街地政策をどう読むか」 日本建築学会編『中心市街地活性化とまちづくり会社』丸善, 2005年9月, pp.36-45.
- (論文) 「ラオスにおける企業家活動—産業構造の多様性と経済の「頑健さ」」 国民生活金融公庫総合研究所『調査季報』, 2005年11月, pp.30-48.
- (論文) 「企業間関係: 多層的サプライヤー・システムの構造—自動車産業における金属プレス部品の2次サプライヤーを中心に」 工藤章, 橘川武郎, グレン・D. フック編『企業体制 (上) 現代日本企業 第1巻』有斐閣, 2005年12月, pp.265-296.
- (論文) 「町工場から開発能力をもつ二次サプライヤーへの発展過程」 法政大学経済学会『経済志林』第73巻第4号, 2006年3月, pp.425-457.
- (書評) 渡辺俊三著『戦後再建期の中小企業政策の形成と展開』経営史学会『経営史学』第40巻第2号, 2005年9月, pp.92-94.
- (解説) 根井雅弘著『シュンペーター』講談社学術文庫, 2006年1月, pp.204-208.
- (辞典項目執筆) 「産業の空洞化」ほか, 『歴史学辞典』第13巻「所有と生産」弘文堂, 2006年3月.
- (ワーキングペーパー) 「ラオスにおける企業家活動」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパー・シリーズ』第9号, 2005年5月.
- (ワーキングペーパー) 「オーラル・ヒストリーの活用法—機械工業振興臨時措置法に関する研究を中心に」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパー・シリーズ』第12号, 2006年1月.
- (ワーキングペーパー) 「小泉修平オーラル・ヒストリー—未知なる海外市場を切り拓く」(天野倫文と共編) 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ワーキングペーパー・シリーズ』第14号, 2006年3月.
- (資料) 「創造的思考と革新的組織—中原恒雄オーラル・ヒストリー (続)」(尾高煌之助と共編) 法政大学経営学会『経営志林』第42巻第2号, 2005年7月, pp.101-127.
- (資料) 「組織の中のアントレプレナーシップ—株式会社ルネサンスの齋藤敏一社長の事例」(金容度と共著) 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『イノベーション・マネジメント』第3号, 2006年3月, pp.161-195.
- (報告) 「ラオスにおける企業家活動」: 企業家研究フォーラム第3回年次大会, 2005年7月2日, 大阪大学中之島センター.
- (報告) 「転換期における流通政策の一側面—体験的流通政策論」: 神戸大学科学研究費プロジェクト研究会, 2005年7月23日, 神戸大学中之島教室.
- (報告) “The Structure of Multi-Layered Supplier System in Japanese Automobile Industry--Metal parts suppliers”: International Symposium “Changes and Challenges in the Japanese Automotive Industry” organized by DIJ and INPRO, 6th September 2005, in Berlin, Germany.
- (報告) 「多層的サプライヤー・システムの構造—自動車産業における金属プレス部品の2次サプライヤーを中心に」一橋大学COEプロジェクト「日本におけるヒトを中核とした企業システムの形成」年次報告会, 2005年10月1日, 生産性国際交流センター.
- (報告) 「多層的サプライヤー・システムの構造—自動車産業における金属プレス部品の2次サプライヤーを中心に」アジア自動車産業研究会, 2005年12月22日, 東京大学21世紀COEものづくり経営研究センター.
- (報告) 「中小企業の国際展開と新しいビジネスモデル—日・中企業の相互補完的機能連携と拠点間分

- 業」同志社大学人文研究所国際シンポジウム, 2006年1月15日, 同志社大学寒梅館.
- (講演) 「自動車産業とサプライヤー・システム」北部九州自動車100万台生産拠点推進会議東京セミナー, 2006年2月14日, 赤坂プリンスホテル.
- (講演) 「中小小売商業政策・中心市街地政策をどう読むか」日本建築学会主催第5回連続まちづくりセミナー, 2006年2月27日, 日本建築学会.
- (コメント) 経済産業研究所政策シンポジウム「中小企業のライフサイクルと日本経済の活性化」における原田信行報告及び橋本俊詔報告についてのコメント, 2005年6月23日, 経済産業研究所国際セミナー室.
- (コーディネーター) 富山市商店街連盟主催パネルディスカッション「都市再生と商業の役割」におけるコーディネーター, 2005年8月22日, 富山第一ホテル.
- (コーディネーター) 世田谷区商店街連合会・東京都商店街振興組合連合会主催パネルディスカッション「商店街は期待されている」におけるコーディネーター, 2006年2月27日, 世田谷区パブリックシアター.
- (審議会答申) 中小企業政策審議会基本政策部会・信用補完制度のあり方に関する検討小委員会『とりまとめ』, 2005年6月, 委員として作成に参加.
- (委託調査) 経済産業省『中小企業における外部CIO機能事例調査報告書——中小企業のIT利活用戦略とITコーディネーター』, 2006年3月, 委員長として取りまとめに参加.
- (座談会記録) 「頑張れ!日本のものづくり」(那倉和彦氏との対談)『月刊商工会』第553号, 2005年8月, pp.4-9.

八重倉 孝 教授

- (著書〔共著〕) 「概念フレームワークと実証研究」斎藤 静樹編著『詳解 討議資料・財務会計の概念フレームワーク』中央経済社, 2005年5月.
- (著書〔共著〕) 「リース」桜井久勝編著『テキスト国際会計基準』第2版, 白桃書房, 2005年6月.
- (論文〔共著〕) 「継続能力の判断と倒産予知モデル」『倒産予知モデルの構築とパフォーマンスの検証』日本会計研究学会, 2005年9月, 49-62頁.
- (論文〔単著〕) 「研究開発投資の費用配分と将来業績の関連性」『無形資産会計・報告の課題と展望』日本会計研究学会, 2005年9月, 227-245頁.
- (論文〔単著〕) 「「業績報告」の論点(2・完)」『企業会計』中央経済社, 57巻6号, 2005年6月, 68-69頁.
- (論文〔単著〕) 「会計基準の取れんは投資家にとって有益か」『証券アナリストジャーナル』日本証券アナリスト協会, 43巻5号, 2005年5月, 16-25頁.
- (論文〔単著〕) 「「業績報告」の論点(1)」『企業会計』中央経済社, 57巻5号, 2005年5月, 68-69頁.
- (論文〔単著〕) 「「業績報告」を取り巻く状況」『企業会計』中央経済社, 57巻4号, 2005年4月, 68-69頁.
- (学会報告〔単著〕) “Investment Strategies Based on Accounting-based Valuation Models”, アジア太平洋国際会計学会, 2005年11月.

矢 作 敏 行 教授

- (論文) 「ブランディング・イン・チャイナ⑥ 経済の“暗黒大陸”の夜明け」『一橋ビジネスレビュー』53巻1号, 東洋経済新報社, 6月.
- (論文) 「韓国総合量販店市場と先発者優位の原則」法政大学経営学会『経営志林』第42巻第2号,

2005年7月.

(対談記録) 「グローバルな視点で“買い手市場”をリードする」(鈴木敏文氏と) 鈴木敏文著『なぜ買わないのか なぜ買うか』講談社, 3月.